
クルスのひと (意味不明)

聖聖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クルスのひと（意味不明）

【Nコード】

N4099K

【作者名】

聖聖

【あらすじ】

書いた本人も意味分かんねえ！！

(前書き)

彼が、『私』が、その人が、誰だか分かりますか？

彼は死んだ。

彼は殺された。

彼はヒトが殺した。

彼を殺したのはロンギヌスという男。

彼を殺したのは一本の槍。

彼を殺したのは、後の聖槍。

私は死んだ。

私は殺された。

私はヒトに殺された。

私を殺したのはロンギヌスという男。

私を殺したものは一つの槍。

私を殺したから、それは聖槍。

その人は死して、なお、ヒトを愛すために再誕する。

故にその人はヒトではない。

その人はヒトを愛し。

ヒトはその人を尊ぶ。

その人は、知らぬ間にヒトを助け。

ヒトは、知らぬ間にその人を想う。

記憶も記録も記述も現状も現実も現存も予想も予知も予測も

その人は出来るが、その人はしない。

ヨハネが、ヨハネが、ヨハネが、
ヒトらが、ヒトらが、ヒトらが、
彼らが、彼らが、彼らが、
子らが、子らが、子らが、

黙示し、傍に立ち、預言するのだから。

(後書き)

分かったからなんだって言う 本末転倒

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4099k/>

クルスのひと（意味不明）

2010年10月17日03時43分発行